

平成 24 年 10 月 23 日

全国保健所長会会員の皆さんへ

“From Center into Station”

全国保健所長会会長 佐々木隆一郎

第 69 回全国保健所長会総会にあたって、一言ご挨拶申し上げます。

第 68 回の全国保健所長会総会にて、会員の皆様から会長にご推薦、ご承認頂き、この 4 月から澁谷前会長の後を受けて、役割をこなしております。私は 60 歳をとっくに超えておりますが、会長の職をお引き受けしようと考えましたのは、以下の理由からです。

1. 全国で 800 を越えていた保健所は、現在 495 へと減少していること、「保健所」の看板も多様な名前が混在していること、更には所長しか存在しない保健所があることなど、保健所が弱体化していると危惧しているからです。
2. 以下のことに取組み、保健所の機能強化に少しでも寄与できたらと考えています。
 - 1) 基盤的保健所機能の標準化
 - ・地域における「顔の見える保健所長」による地域医療・保健体制の確保
 - ・地域の実情を「俯瞰」した地域健康課題の把握と解決策の提示
 - ・地域の人的資源を活かした、ソーシャルキャピタルの強化
 - 2) 保健所間のネットワークによる機能強化
 - ・個々の保健所長が持つ専門性を全国で活用するネットワークの構築
 - ・全国の保健所長を支援するバックアップ機能の構築
 - ・都道府県内、ブロック保健所間での有機的連携

会員の皆さんにお願いしたいことは、

1. 地元で保健所長の専門性を発揮し「顔をつくる」こと
2. 全国保健所長会の活動にも積極的に参加をいただくこと

の二つです。 二年間 宜しく願いいたします。